

【日程・講師プロフィール】

<p>第1回 10月2日 (日)</p>	 <p>五月女 隆さん</p>	<p>1964年北海道生まれ、千葉県育ち。県立船橋高校を経て、1990年千葉大学医学部卒。在学中がんを治す医師を目指し、外科医を志したが卒業後進路の案内本で「メスでは治せないがん」に対し「分子のメス」を扱う医師の存在を知り、腫瘍内科医を志し千葉大学第一内科（消化器・血液・腎臓）に入局。以来千葉県がんセンター（通算5年）、がん研有明病院（通算7年）を含め多数の病院で抗がん剤治療の武者修行を積み、12回目の転勤で2010年現在所属の松戸市立総合医療センターに勤務、現在に至る。もっぱら現場での臨床業務を続け、経験症例はあらゆるがん種を網羅し7000例に及ぶ。千葉大学医学部非常勤講師（抗がん剤の薬理学を担当）、松戸市立総合医療センター看護専門学校非常勤講師（生命倫理学を担当）。</p>
<p>第2回 2月5日 (日)</p>	 <p>蔵本 浩一さん</p>	<p>2003年北里大学医学部卒。卒業後、横須賀、東京の2次救急病院での多科ローテーションと、僻地や離島の診療所研修を組み合わせたユニークな初期研修を行う。その後は千葉県の3次救急病院にて、消化器内科・感染症を中心とした後期研修を開始するが、そこで初めて「緩和ケア」の大切さと、その提供体制のギャップを知る。卒業7年目から緩和ケア科所属となり、緩和ケア病棟ならびにコンサルトチーム業務を担当。2010年に亀田総合病院の疼痛・緩和ケア科フェローに着任し、2017年より現職。フェローを修了した2012年に、地元住民と共にACPを考えるプロジェクトを立ち上げる。2015年に一般社団法人iACPを設立し、もしバナゲームを開発。現在はゲームを用いた研修会、もしバナマイスター養成プログラムを手掛ける。</p>

【会場までのアクセス】



JR千葉駅から

JR 千葉駅東口2番バス乗り場から鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地（星久喜台経由）行き乗車
→千葉県がんセンター下車（所要時間：約25分）



東京・船橋方面 木更津・館山方面から

京葉道路「松が丘」インターチェンジから大網街道を大網方面に向かい、約2km右側

東金方面から

東金有料道路「大宮」インターチェンジを出て右折約2km先の大網街道を右折し、約1km;



切り取り線

連続講座 会場参加申込票	
参加者氏名	
立場	患者・家族・医療関係者・その他
住所	〒
連絡先（電話・FAX）	
参加日	10月2日 2月5日

※オンライン参加の方は、メールでお申し込みください。